

農業複式簿記の有用性に関する 実証研究

食農環境マネジメント学 コース

家串 哲生 准教授 IEKUSHI, Tetsuo



キーワード：農業複式簿記，経営管理・分析

専門分野：農業会計学

連絡先Email：iekushi@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

研究内容

農業者の経営管理能力の強化が模索される中，農業複式簿記のあり方に注目が集まっており，その普及・定着や会計データの経営管理・分析への活用の促進が喫緊の検討課題となっています。しかしながら，その普及・定着は未だ進んでいませんし，簡易簿記による自計化を再検討をすべきではとの提案もあります。こういった中で，農業複式簿記を実施している農業者の経営意識に着目した研究はほとんどありません。

本研究室では，多変量回帰分析を用いて，
①複式簿記の実施により，農業者の経営意識が向上することを明らかにすることにより，農業者の経営管理能力強化に係る農業複式簿記の有用性を示す，
②農業経営における具体的に有効な経営管理・分析の内容を明らかにする，
の2点を研究目的に設定しています。

現在，①については，農業者の経営管理能力の強化を図るためには複式簿記によりデータを記録・集計，把握し，それを用いた経営管理・分析を行うことが有用であることの結果を得ています。本結果は，簿記を実施している，あるいは将来の実施を検討している農業者が，簡易簿記からステップアップして複式簿記の習得を目指し，さらにそれを用いて自ら必要な会計データを生み出し，税務申告に止まらず，経営管理・分析に有効に活用していくことが今後の農業者の経営管理能力の強化につながると解釈できます。